



## ギフチョウ、大江高山に舞う

春本番を迎え、桜が咲き誇る頃、大田市南西部の大江高山おおえたかやまは最も賑やかな季節を迎えます。標高808mの山頂を目指して登山道を進むと、黄色と黒の文様もんように朱の斑紋ほんもんが鮮やかなギフチョウが姿を現します。時には何頭ものギフチョウが飛び交い、その羽ばたきは短い春の一瞬を逃すまいと急いでいるかのようです。ギフチョウが成虫として羽ばたくのは春の一時期だけなのです。

山口県以東に分布するギフチョウは、全国

的に少なくなっていますが、大江高山は飛び交う姿を比較的容易に目にすることができる貴重な生息地です。

そして同じ時期、足下に目をやるとつつむき加減の白い花を細長い葉の付け根あたりに付けたイズモコバイモを見つけることができます。島根県の数カ所ではしか確認されていない植物です。

希少な動植物に彩られる春の大江高山。のどかな春の日に登ってみたい山です。

## 春の企画展紹介

## 学芸員のおつき

～秘蔵標本から最新研究まで～

サヒメルが開館してもう30年になりますので、これまで何度も来館し、ここには三瓶山や島根の自然についての展示があるとよく知っている人も多いことでしょう。しかし、サヒメルはそれだけの施設ではありません。そこで春の企画展では、自然系博物館としてのサヒメルの役割を、学芸員の「とっておき」とともに紹介します。

## 「収集・整理」「保存・保管」

サヒメルでは、生き物や岩石などの標本や天体の写真など、さまざまな資料を収集して保管し、それら膨大な資料を日々整理しています。そんな収蔵資料の中から、島根県内の恐竜時代の地層で学芸員が発掘したアンモナイト化石や50年以上前の貴重な植物標本、学芸員が発見した昆虫、三瓶山の希少な昆虫など、とっておきの標本を展示します。

## 「展示・活用」

博物館にとってなくてはならない「展示」は、集めた資料をただ置いておくだけではありません。そこで、現在開発中の工夫を凝らした新しい展示や装置を紹介します。津和野藩出身の江戸時代の天文学者・堀田仁助が製作した天球儀の3D画像や、空間に浮かび上がった文字が読めるスマートグラスといったとっておきの新アイテムを公開しますので、体験してみてください。



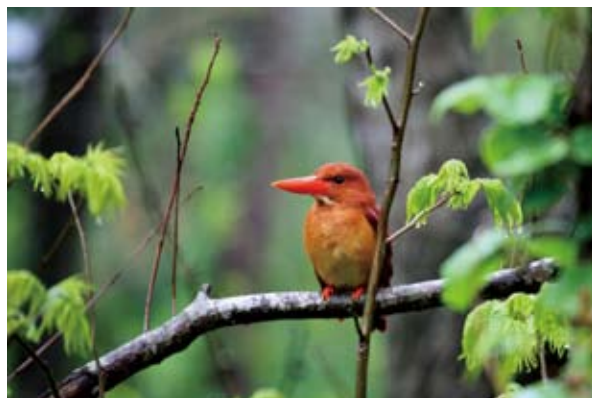
堀田仁助の天球儀3D画像  
協力：太鼓谷稲成神社、大田市教育委員会



島根県産のアンモナイト化石

## 「調査・研究」

学芸員にとって調査や研究も大切な仕事です。例えば、バードウォッチャーあこがれの渡り鳥アカショウビンは、今までどこからやってくるのかよく分かっていませんでした。そこで鳥専門の学芸員が、新技術を活かし追跡調査しました。9年間追いつけて解いたその謎について公表するほか、石見銀山の間歩に住むコウモリの生態など、学芸員とっておきの最新研究を紹介します。



アカショウビン



さんいん学閤「さんいん きらめく星」より「月と5円玉」

### 「教育・普及」

自然や科学の楽しさについて、子どもや大人によりよく伝えるのも、サヒメルの学芸員の仕事です。ある学芸員は三瓶山近くの温泉水を使って、怖いと思われがちな放射線のことをわかりやすく伝える活動をしています。この企画展でも放射線を可視化するなど、その身近さを感じられるようになっています。また、こども新聞に連載している星の記事のいくつかを掘り下げた展示など、とっておきの話題も提供します。

## 三瓶山の火入れ

日によっては肌寒い3月下旬の三瓶山西の原。枯れ草に覆われた草原が、バチバチという音とともに、大きな炎に包まれます。三瓶山の春の風物詩ともいえる西の原の火入れです。多くの人々が見守る中、枯れ草に火が付けられ、燃え広がって行きます。

なぜ火を付けているのでしょうか？ 日本列島は比較的温暖で雨が多い地域のため、放っておくと大部分の土地は森林へと移り変わります。草刈りをやめると、あっという間に藪に移り変わるのも、そのためです。三瓶山では古くから放牧が盛んであったため、牛たちが草を食む場所である草原が、大切に守られてきました。春先に火を付けて木々を燃やすことで樹林化を防ぐ、そんな先人達の知恵が火入れなのです。

現在は、飼育される牛馬が少なくなり、放牧の場として使われることは少なくなりました。それでも、すそ野に広がる草原は広々とした風景を作り出し、三瓶を訪れる人々の憩いの場になっています。また、希少な



「丸山植物標本」ムラクモアザミ

### 学芸員のとっておき

～秘蔵標本から最新研究まで～

期 間：2021年3月20日(土)～6月6日(日)

入館料：大人600円 小人200円 幼児無料

主 催：島根県立三瓶自然館

(公益財団法人しまね自然と環境財団)

動植物も多く暮らしており、生物多様性を守る上で重要な場所となっています。


このような多様な価値をもつ草原を後生に残すために、毎年西の原の火入れが続けられています。火入れ直後は一面真っ黒に染まりますが、ひと月もすれば草たちが芽吹き、春の息吹を感じさせてくれます。





 <b>さんべの森たんけんたい ～春の森であそぼう～</b>	<b>4/18 日</b> 9:30～14:00	キャンプ場でご飯炊きにチャレンジ！ おにぎり弁当を作って、春探しピクニックにでかけましょう。	定員：家族8組 料金：大人300円 小人100円	<b>要予約</b> 幼児を含む家族対象
 <b>サヒメルきつずサンデー</b>	<b>4/18,5/16 日</b>	デジタル紙芝居やプラネタリウムなど 親子で楽しむことができる1日です。	定員：60名 ※プラネタリウム 料金：入館料	小中高生は無料
 <b>月イチガク① 石見の火山・石見銀山</b>	<b>4/24 土</b> 14:00～15:30	日本遺産「石見の火山が伝える悠久の 歴史」の切り口からみた石見銀山を紹 介する講座です。	定員：20名 料金：入館料	<b>要予約</b> <b>ONLINE</b> オンライン視聴も可能
 <b>南十字星の下で 見えない宇宙に挑むアルマ望遠鏡</b>	<b>4/25 日</b> 13:30～15:00	南米チリにある巨大電波望遠鏡アルマ が解き明かした宇宙の謎を国立天文台 の平松正顕助教が解説します。	定員：60名 料金：入館料	<b>要予約</b>
 <b>ゴールデンウイーク 天体観察会</b>	<b>5/1 土～4 火</b> 20:00～21:00～	春に見やすい天体を望遠鏡で観察したり、 星座を見つけて楽しめます。	定員：30名 料金：大人300円 小人100円	<b>要予約</b>
 <b>月イチガク② おおだの古墳</b>	<b>5/8 土</b> 14:00～15:30	大田市の古墳、横穴とそこから発見され た貴重な資料を大田市教育委員会の 野島智美さんに紹介して頂きます。	定員：20名 料金：入館料	<b>要予約</b> <b>ONLINE</b> オンライン視聴も可能
 <b>バードウォッチング講座 さえずりから識別基本10種編</b>	<b>5/9 日</b> 10:00～12:00	野鳥のさえずりを聴きながらサヒメルの 周辺をのんびり歩きます。基本の10 種類を覚えてみませんか？	定員：20名 料金：100円	<b>要予約</b> 対象小学生以上
 <b>春の男三瓶山に登ろう</b>	<b>5/16 日</b> 9:00～15:00	花や新緑、鳥のさえずりなど季節の自然 を観察しながら三瓶山の頂上を目指 します。	定員：20名 料金：100円	<b>要予約</b> 対象5才以上
 <b>ASOBO スラックラインとハンモック</b>	<b>5/16,6/20 日</b> 10:00～15:00	北の原キャンプ場のデーキャンプエリア にスラックラインとハンモックがイ ベント日限定で登場！	定員：なし 料金：100円	
 <b>皆既月食観察会</b>	<b>5/26 水</b> 19:30～22:00	月が地球の影に完全に入って赤っぽく 見える皆既月食を望遠鏡などで観察し ます。途中参加、退出自由。	定員：30名 料金：大人300円 小人100円	<b>要予約</b>

**要予約** このマークがあるイベントは、1ヶ月前から実施する施設ごとに電話で予約を受付します。

 三瓶自然館：0854-86-0500

 三瓶小豆原埋没林公園：0854-86-9500

 三瓶山北の原キャンプ場：0854-86-0152

## 天体観察会は予約制で実施します

毎週土曜日の定期天体観察会は、定員30名の予約制で実施しています。参加をご希望の場合は、あらかじめ電話（0854-86-0500）でご予約をお願いします。定員に達し次第、受付終了しますので、ご了承ください。

### 新型コロナウイルス感染症への対応について

感染症への対策として、臨時閉館や展示やイベントを一部制限、中止する場合がございます。感染防止へのご理解、ご協力賜りますようお願いいたします。

なお、対応の内容は適宜ホームページでお知らせします。

### 島根県立三瓶自然館サヒメル

■開館時間

9:30～17:00

■休館日

毎週火曜日（火曜日が祝日の場合は翌平日）

※年末年始、その他、メンテナンス休館あり



### 三瓶フィールドミュージアムニュース <隔月発行>

編集・発行 公益財団法人しまね自然と環境財団

〒694-0003 島根県大田市三瓶町多根1121-8

TEL 0854-86-0500/FAX 0854-86-0501

<エコサがしまね> 〒690-0887 島根県松江市殿町8-3 TEL 0852-67-3262

しまね自然と環境財団は、三瓶自然館等の指定管理者です。

エコサがしまね（松江事務所）では、地球温暖化対策等の事業を行っています。